

質問 判治議員（県民・多治見市）令和7年10月1日（水）

2 地域の魅力向上と多様な人材が活躍できる地域づくりについて

（2）移住・定住につながる今後の取組について

答弁 知事

現在、東京一極集中を背景に、地方都市におきましては人口減少に歯止めがかからない状況の中で、移住定住の推進は、地域の活力を維持するための重要な地域戦略であると考えております。

近年、本県への移住希望者は、従来のセカンドライフを考えるシニア層から、若者層・子育て層へと広がっており、移住に求める視点も「自然環境」だけでなく「暮らしやすさ」や「子育て支援」など、多様化しているところでございます。

特に、テレワークの普及によりまして、様々な分野において、仕事と暮らしやすさの両立を図ることが比較的容易になっていることも、移住を後押しする要因の一つになっていると考えます。

こうした状況を踏まえまして、「岐阜に帰る、岐阜を選ぶ」を推進するためには、移住を検討する初期の段階におきましては、「岐阜県はどんなところか」ということを的確に伝え、岐阜県での暮らしを身近に感じていただくことが重要と考えております。

その後、移住に向けての検討が進む段階によっては、これに対応して、実際に移住後の生活をイメージできる「子育て環境」や「医療環境」などの具体的な情報提供や、「空き家物件」の紹介などの支援をしていくことが重要と考えております。

実際に移住者を受け入れることとなります県内市町村では、既に様々な工夫を凝らした取組が実施されております。

例えば、先だって訪問させていただきました中濃の白川町でございますけれども、移住相談のワンストップ化を図り、空き家のマッチングから仕事の紹介、移住後のコミュニティへの溶け込みまで、個々の移住者に寄り添った支援を行い、過去5年間で、近隣自治体の倍以上となります 102 名の移住者受入れを実施したところでございます。

また、地域の特徴であります農林業に興味のある方への支援も積極的に実施されておりました。起業する傍らで有機農業を行う、いわゆる「半農半X」、つまり農業を行いながら他の仕事をするという、そうした実践をされておきまして、そうした方の中には、地域の活性化に寄与される人もいらっしゃると思っております。

また、美濃市や山県市などでは、将来の移住に向けまして、まずは地域とつながってもらおう取組として、都市部の親子に一定期間滞在してもらい、地元の保育園に子ど

もを通わせながら、地域の暮らしを体験する「保育園留学」、これを実施してご
います。美濃市が実施した参加者アンケートでは、約半数の方から「移住を検討したい
と思った」との回答が寄せられておりまして、今後、移住への展開が期待される
ところでございます。

県としましては、日頃から、市町村と県の移住相談員を交えた情報共有や意見交換
を行う中で、市町村のこうした先進的な取組を県全体に広げ、岐阜県に「行ってみたい
」、「つながりたい」から、「また行きたい」、「住んでみたい」と思っただけ
の方を一人でも多く増やせるよう、市町村と連携して受入体制の拡充に努めてまい
ります。

担 当 課 地域振興課

電話番号 058-272-1830

メ ー ル c11143@pref.gifu.lg.jp